

# ふるさと 奥出雲 情報

2011 <ふるさとからあなたに情報発信>

発行：奥出雲町役場 島根県仁多郡奥出雲町三成358番地1 電話：0854-54-1221 Fax：0854-54-1229  
ホームページアドレス http://www.town.okuizumo.shimane.jp/



## 奥出雲町の概要 <平成23年11月1日現在>

総面積・・・368.06km<sup>2</sup>  
標高・・・仁多庁舎所在地 233m・横田庁舎所在地 332m  
人口・・・14,609人  
世帯数・・・4,936世帯  
財政状況 <平成22年度一般会計決算額>  
歳出決算額 168億577万円  
(参考)H20年度 156億4,864万円 H21年度 161億8,019万円  
経常収支比率 81.5%(対前年度2.4%減)  
経常収支比率 = 町で必ず支出する費用:人件費、物件費、補助費、公債費等  
歳入:市町村税+普通交付税等  
実質公債費比率 20.7%(対前年度1.8%改善)  
実質公債費比率 = 借入金の返済、債務負担の支出、病院その他への繰出金  
歳入:市町村税+普通交付税等  
一般会計基金残高(町の貯金) 27億3,843万円  
(内訳)財調・減債基金 15億2,453万円  
その他特定目的基金 12億1,390万円

## ふるさとを離れてご活躍中の皆様へ

奥出雲町長 井上 勝博

ふるさとを離れてご活躍の皆様には、お元気でお過ごしのことと拝察いたします。

奥出雲町も秋を迎え、この「ふるさと情報」をお届けする時期となりました。まちの近況や話題などをご覧いただき、奥出雲への思いを巡らせていただければ幸いです。

東日本大震災の発生など国内に明るい話題が少ない中、奥出雲町では、横田高校男子ホッケー部が全国高校総体で無失点優勝、将棋女流タイトル・倉敷藤花戦の開催、東京藝術大学との交流事業など、多くの明るい話題がありました。

また、尾原ダム周辺整備による自転車及びボート競技施設の竣工、主要地方道横田多里線街路事業の完成など、環境整備も着々と進んでいます。

今後も、「心豊かで潤いと活力のある奥出雲～笑顔と語らい、元気あふれるまちづくり～」を基本方針として新たに策定した「奥出雲町総合計画」をもとに、町政運営に取り組んで参ります。

## 奥出雲町総合計画を策定

まちづくりの基本方針となる「奥出雲町総合計画」が三月に策定されました。

「心豊かで潤いと活力のある奥出雲～笑顔と語らい、元気あふれるまちづくり～」をまちの将来像(メインテーマ)とし、三項目の基本理念、七項目の基本目標を定め、これからのまちづくりの方向性を定めています。

この総合計画をもとに、よりよいまちづくりを進めていきます。

## 勝田康則副町長が就任

任期満了による和泉一朗氏の副町長退任に伴い、六月定例議会の選任同意を得て、七月一日付けで勝田康則副町長が就任されました。



## 将棋タイトル戦

### 第19期「倉敷藤花」戦開催



対局の様子

女流棋士タイトル「倉敷藤花」の第19期戦第一局が十一月六日、亀高温泉「玉峰山荘」で開催されました。東京都と倉敷市以外で開催されるのは、タイトル史上初めてです。対局は約五時間半に亘る熱戦の末、里見香奈女流三冠が、百十三手で清水市代女流六段を下し、先勝しました。

## 新たなスポット 尾原ダム周辺整備進む

尾原ダム周辺施設として、自転車競技施設(中国地方二箇所目の公認コース)が五月十五日に、ダム湖を利用したボート競技施設(常設公認B級コース)が十月十六日に竣工しました。

「車道路競走大会」が開催されました。今後も両施設では大きな競走大会が予定されています。

中国地域自転車競技大会は、六月十九日に、中国地域自転車競技大会が開催されました。



中国地域自転車道路競走大会



ボート競技施設

高校生  
中学生

ホッケー全国大会で活躍

## 全国高校総体

### 横田高校男子ホッケー部 全試合無失点で優勝



八月に岩手県で開催された、平成二十三年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技において、横田高校男子ホッケー部が、三年ぶり五度目の栄冠を勝ち取りました。全五試合で二十六得点、無失点での勝利という快挙に、奥出雲町全体が沸きました。



### 全日本中学生ホッケー選手権 横田中学校男子ホッケー部 第三位

八月に京都府で開催された、第四十一回全日本中学生ホッケー選手権大会で、全国の強豪相手に、横田中学校男子ホッケー部が第三位を獲得しました。

## 保育・教育施設の整備が進む

横田幼稚園（完成イメージ）



完成間近の八川幼稚園



亀高小学校校舎と屋内運動場、馬木小学校屋内運動場が二月に竣工しました。また、仁多中学校の

大規模改修事業や横田八川幼稚園の建設など、安心・安全な保育・教育環境の確保に向け整備を行っています。

佐白地区交流拠点施設（完成イメージ）



## 新たな交流施設 佐白地区に整備

尾原ダムの整備に伴う地域振興策の一つとして、町では「佐白地区交流拠点施設」の建設を進めています。奥出雲多根自然博物館近くの当施設には、温泉やレストラン、農業体験スペースを設けています。また、温泉水としてのバランスに優れたアルカリ性単純温泉の泉水を加熱するため、木質チップを原料とするバイオマスボイラーを設置します。オープンは来春の予定です。

## 横田高校 新校舎完成と創立90周年を祝う



五月一日、横田高校新校舎の完成と創立九十周年を祝う式典が行われ、在校生、卒業生、町民や関係者など約五百人が出席しました。当日は、ホッケー競技の功績を称える銅像の除幕式、記念植樹のほか、俳優の武田鉄矢さんと女優の杉田かおるさんによる記念トークショーが開催されました。また同校では、地域振興策や企業活動を学ぶ、生徒による仮想会社「だんだんカンパニー」を立ち上げ、将来を担



生徒による東京での販売の様子

う生徒たちの人材育成に、積極的に取り組まれています。十月には、生徒が手作りしたジャムを東京のほんばし島根館で販売しました。

## 文化の薫り高い町づくり 東京藝術大学サマースクールin奥出雲



全員で町歌を合奏

東京藝術大学の教授や大学院生を講師に招き、東京藝術大学サマースクール・イン・奥出雲が八月に開催されました。

大学院生たちは、期間中、町内の音楽団体への実技指導を通して交流を深め、最終日に、合同コンサートをしました。

また開催には、元NHK音楽ディレクターで、奥出雲町文化藝術アドバイザーの岡弘道さんにご尽力いただきました。

## 「たたら」の価値を再認識

たたらシンポジウム



「たたら」の様々な価値を再考する「たたらシンポジウム2011」が二月二十一日、

松江市のくびきメッセで行われ、事例発表や有識者によるパネルディスカッションを通し、五百人を超える参加者が、その価値と重要性について認識を新たにしました。

十一月五日には、出雲市の古代出雲歴史博物館で「たたら公開講座」が行われ、知識を深めました。

また六月には、国の重要な景観選定を目指し、たたら製鉄と、これにより形成された景観の保存計画を協議する検討委員会が発足しました。

## 究極のご飯の祭典

## 米1グランプリ開催

多くの出店に賑わう会場



米や米粉を使った料理とスイーツで、味やアイデアを競う「米1グランプリ」が開催され多くの人で賑わいました。地元有志で組織する実行委員会が主催し、昨年は五千人、今年は二日間で一万人を超える来場者が米の魅力堪能しました。



受賞者の皆さん

第十二回全国米・食味分析鑑定コンクールで、奥出雲仁多米(株)が総合部門で金賞したほか、二名五団体が各部門で入賞。仁多米ブランドの名声を改めて全国に伝えました。

## 一味同心塾が 開館十周年

料理研究家の中村成子さんが館長を務める、上阿井の「一味同心塾」が開館十周年を迎えました。



音無さんと田植え交流

六月には、女優の音無美紀子さんを迎えて田植え交流会が開催されました。

## 横田多里線街路事業が完成

完成式パレード



横田地区の中心部を通る主要地方道横田多里線の街路事業等が、平成五年から十九年の歳月をかけ完成しました。

五月には完成式が行われ、新しい街並みを歩き完成を祝いました。

また四月には、新たな商業スポット「よりみちマルシェ」が同道路沿いに完成しました。



オープンしたよりみちマルシェ

# 伝統の催し 今年も賑やかに開催

今年も町内各地で、伝統の祭りやスポーツ大会など、様々な催しが開かれました。



三成愛宕祭(8月24日)



船通山宣揚祭(7月28日)



第60回仁多郡駅伝競走大会(11月21日)

## 東日本大震災

### 奥出雲町からも支援活動

震災被災地へ向けて奥出雲町から給水車による給水支援、保健師の派遣、ペットボトル飲料水二万四千本をはじめとした物資支援など、被災地支援に取り組みました。

十月四日には、給水支援活動先の宮城県色麻町から伊藤拓哉町長が奥出雲町を訪れ、感謝状が贈られました。被災地の一日も早い復興を心からお祈りします。

## 奥出雲町景観計画を策定しています



第1回策定委員会の様子

平成二十二年十月に景観行政団体になったことを受け、美しく豊かな景観形成を目指す「奥出雲町景観計画」の策定を進めています。策定委員会の審議のほか、学習フォーラムを重ね、平成二十三年度の策定を目指しています。



奥出雲町の魅力を情報発信

URL <http://www.okuizumogokochi.jp/>

「奥出雲ごこち」は、観光情報、グルメ情報などのほか、従来の行政からの情報提供型ではない、奥出雲の魅力発信するサイトです。

インターネット上で奥出雲町のファンを全国から募集し、ユーザー投稿による口コミで、奥出雲ファンの輪を広げ、奥出雲を楽しく応援します!!

## 遠方にお住まいのご家族も安心

### 「まめな家族サービス」のご紹介

「まめな家族サービス」とは、奥出雲町内のご両親と離れて暮らしておられるご家族とをテレビ電話でつなぐサービスです。

#### 画面にタッチで毎日安心

##### メール発信サービス「おはようタッチ」

このサービスは、ご両親がテレビ電話の画面をタッチすることで、ご家族の携帯電話やパソコンなど(最大3か所)に安否確認のメールを送信します。

離れていても、ご家族に安心をお届けします。

奥出雲町では、離れて暮らすご家族に「まめな家族サービス」の町外モニターとしてテレビ電話端末の無償貸与(期限付き)を行っています。

詳しくは、奥出雲町ホームページまたは奥出雲町役場総務課までお問い合わせください。

奥出雲町ホームページ

<http://www.town.okuizumo.shimane.jp/anshin/>

## “子育て” “定住”

### 奥出雲町は支援制度が充実

#### 【子育て支援】

**医療費の助成、無償化** 制度拡充

就学前児童の医療費を無償化。

さらに、養育の有無に関わらず、満22歳以下の子どもを3人以上有している場合、中学生以下の子どもの医療費を全額助成。

**保育料の軽減、無償化** 制度拡充

保育料を、国の基準に比べ低く設定。

3歳児以上の保育所保育料は月額上限15,000円、幼稚園保育料は月額上限5,000円。

さらに、保育所・幼稚園に入園している第2子の保育料は2分の1に軽減。

また、中学3年生以下の子どもが3人以上いる場合は、第3子以降の保育料無料、幼稚園給食費無料。

**出産に対し祝金を支給** 制度新設

出産に対し、町内で使用できる期限付商品券10万円分を支給。

**祖父母孫家庭等応援手当** 制度新設

父母がいない子どもやひとり親世帯の子ども等を父母に代わって養育している祖父母等に対し、子ども1人につき月額10,000円の手当を支給。

#### 【定住対策】

**定住奨励金**

定住を目的とするUIターン単身者に10万円、世帯者に20万円、新規学卒者に10万円を支給。

**空き家バンク、無料職業紹介所**

「空き家バンク」で住まいの情報を、「無料職業紹介所」で求人求職情報を提供。